

平成23年3月時刻改正 新しい輸送サービスのご案内

平成22年12月17日
J R 貨 物

JRグループでは平成23年3月12日(土)にダイヤ改正を実施いたします。
このたび、ダイヤ改正の内容について調整が終了しましたのでお知らせいたします。
この資料は、貨物列車の改正内容についてまとめたものです。

本文中の(タ)は貨物ターミナルの略

26両編成コンテナ列車が福岡貨物ターミナルへ乗り入れます

鹿児島線(北九州・福岡間)輸送力増強事業の完成によって、北九州(夕)～福岡(夕)間で18本の列車を新たに26両編成化(1300トンけん引)します。

同事業の完成により、首都圏・中京圏・関西圏から福岡貨物ターミナルへ26両編成(1300トンけん引)列車の直通運転が可能になり、同区間の有効時間帯列車の輸送力の増強が実施でき、トラック・フェリーに対抗する輸送手段としてマーケットから選択される商品作りを目指すとともに、環境負荷の少ない鉄道貨物輸送へのモダリティシフトを加速させます。

現在、北九州貨物ターミナル以西のエリアは最大24両で運転しています。

【北九州(夕)～福岡(夕)間26両編成化する列車】

地帯間	列車番号	発駅	着駅	改正		
				新列車番号	長編成区間	記事
関東 九州	7055	東京(夕)	福岡(夕)	7055	東京(夕)～福岡(夕)	注1
	1071	東京(夕)	福岡(夕)	1055	東京(夕)～福岡(夕)	
	1051	東京(夕)	福岡(夕)	1051	東京(夕)～千早(操)	
	1057	越谷(夕)	福岡(夕)	1059	越谷(夕)～福岡(夕)	
	1053	横浜羽沢	福岡(夕)	1053	横浜羽沢～福岡(夕)	
九州 関東	1050	福岡(夕)	東京(夕)	1050	福岡(夕)～東京(夕)	
	1056	鳥栖(夕)	東京(夕)	1054	千早(操)～東京(夕)	
	1054	福岡(夕)	越谷(夕)	1058	福岡(夕)～梶ヶ谷(夕)	
	1076～4075	福岡(夕)	宇都宮(夕)	2062～4063	福岡(夕)～新座(夕)	
	1052～2055	北九州(夕)	倉賀野	1052～4051	福岡(夕)～梶ヶ谷(夕)	
東海 九州	5059	名古屋(夕)	福岡(夕)	1065	名古屋(夕)～福岡(夕)	注1
	7059～8059	西浜松	福岡(夕)	7059～8059	西浜松～福岡(夕)	
九州 東海	5058	福岡(夕)	名古屋(夕)	1064	福岡(夕)～名古屋(夕)	注1
	7090	福岡(夕)	西浜松	7090	福岡(夕)～西浜松	
関西 九州	3068～5069	安治川口	福岡(夕)	3066～1067	梅田～福岡(夕)	注1
九州 関西	2050	福岡(夕)	大阪(夕)	3050	福岡(夕)～大阪(夕)	
	3076～5076	福岡(夕)	姫路貨物	1076	福岡(夕)～姫路貨物	
東北 九州	4072～4086 ～5075	東青森	福岡(夕)	4072～4086 ～1073	新座(夕)～福岡(夕)	注2

注1)現在、北九州貨物ターミナルまで(上り列車は北九州(夕)から)26両編成列車として運転

注2)現在、西岡山まで26両編成列車として運転

大阪(夕)発九州鳥栖(夕)行き直行列車を運転します

現在、大阪(夕)と福岡(夕)を運転している列車の着駅を鳥栖(夕)に変更し、鳥栖(夕)行きの直通列車を運転し、お客様の需要にお応えするとともに、南九州(鳥栖(夕)・熊本)行き輸送力の増強と輸送時間の短縮を図り、他輸送機関との競争力を強化します。

現行			改正		
列車番号	発駅・時刻	着駅・時刻	発駅・時刻	着駅・時刻	記事
57	大阪(夕) 20:49	福岡(夕) 翌日 6:17	大阪(夕) 20:49	鳥栖(夕) 翌日 7:22	鳥栖(夕)で 8091 列車熊本行きへ 接続
56	福岡(夕) 19:20	大阪(夕) 翌日 5:21	鳥栖(夕) 18:03	大阪(夕) 翌日 5:21	

自動車部品等の九州向け輸送需要にお応えします。

東海・関西地区～九州地区間の自動車部品等の輸送需要にお応えし、利便性の向上を図ります。

列車番号	発駅・時刻	着駅・時刻	停車駅	記事
8091	名古屋(夕) 16:10	熊本 翌日 10:41	岐阜(夕)、神戸(夕)、西岡山、 北九州(夕)、鳥栖(夕)	運転日は別途ご案内 します。
8090	熊本 17:24	名古屋(夕) 翌日 13:33	鳥栖(夕)、北九州(夕)	運転日は別途ご案内 します。

北海道 関西(梅田)間に新たな直通ルートを設定します。

東海道・東北線の列車体系を見直し、北海道 関西間を直通列車で結びます。これにより、これまでの日本海縦貫線経由に加え、新たな直通ルートができます。

列車番号	発駅・時刻	着駅・時刻	停車駅	記事
5086 ～ 3083	梅田 22:57	札幌(夕) 翌々日 5:31	梅小路、五稜郭	毎日運転
3082 ～ 5087	北旭川 0:27	梅田 翌日 13:38	苫小牧貨物、東室蘭、 五稜郭、梅小路	毎日運転

翌日配達圏の拡大など、リードタイムの短縮を図ります

主要都市と地方中核都市のコンテナ輸送について、翌日配送ネットワークの拡充を図ります。

区間	現改	輸送ルート	中継駅	リードタイム
大阪(夕) 熊本	現行	57～5057	北九州(夕)	午後集荷：翌日午後配達
	改正	57～8091	鳥栖(夕)	午後集荷：翌日午前配達
西浜松 新座(夕)	現行	5098～3099	なし	午後集荷：翌日午前配達
	改正	2062～4063	なし	午後集荷：翌日早朝配達
新南陽 安治川口	現行	5090～2086	広島(夕)	午後集荷：翌日午前配達
	改正	2086～3087	なし	夜間集荷：翌日午前配達
南長岡 新座(夕)	現行	2080～75 ～5067	隅田川 越谷(夕)	午後集荷：翌日午後配達
	改正	2074	なし	午後集荷：翌日午前配達

大型コンテナ輸送ネットワークを拡大します

大型コンテナの需要は引き続き高く、モーダルシフトを推進する有効な手段となっていることから、重量コンテナ（ISO24 トンコンテナ等）が積載可能な貨車の投入を積極的に進め、大型コンテナネットワークを拡大します。

【新たな大型・重量コンテナ輸送区間及び増強区間】

区間	列車番号	改正	記事
名古屋(夕) 仙台港	3090～5090～4081～1653	㊦106形式 コンテナ車配備	輸送力拡大
大阪(夕)・梅小路 熊谷(夕)	1084～4089～4051	㊦104形式 コンテナ車増備	輸送力拡大
神戸(夕) 鳥栖(夕)	8091	㊦104形式 コンテナ車配備	直通ルート新設
西浜松 新南陽	5099～73	㊦104形式 コンテナ車配備	直通ルート新設

機関車・コンテナ車・コンテナを新製・増備します

安全性及び輸送品質の向上を図るため、輸送機材の設備投資を積極的に行います。

【機関車】 19両の新製を行います。

【コンテナ車】 76両の新製を行います。

【コンテナ】 1,500個の新製を行います。

- ・ 19D形式（両側開きタイプ） 300個
- ・ V19B形式（妻側開き通風タイプ） 200個
- ・ V19C形式（両側開き通風タイプ） 1,000個